

陸上競技場の東側にあるAフィールドは、サブトラック付サッカー場であり、さらに東奥に2面並んでいるBフィールドはアメリカンフットボール兼サッカー場、Cフィールドはラグビー兼サッカー場です。ナイター設備は、Aフィールドでは照明塔6基にHID器具1.5kW形相当LED投光器（合計72台）を、B・Cフィールドには照明塔12基にHID器具1.5W形相当LED投光器（合計96台）を搭載し、グレア軽減を図りつつ快適なフットボール場を実現しています。

あふれる緑の中ジョギングできる周回路や、ファミリーで遊べる遊具もある、四日市市を代表する緑地です。スポーツ施設も、体育館、陸上競技場、フットボール場など充実しています。2018年の「全国高等学校校総合体育大会」、2021年の「三重とこわか国体」のサッカー競技が四日市市で開催されるため、両大会に向け新たなフットボール場3面を整備。このフットボール場は、JFA公認サッカー場として取得しています。



【物件概要】
所在地：三重県四日市市日永東一丁目3-21
面積：Aフィールド/約14,870㎡、
陸上サブトラック400m周回4レーン、
直走路100m6レーン（内2レーン150m）、サッカー1面
Bフィールド/約9,440㎡、アメフトまたはサッカー1面
Cフィールド/約9,440㎡、ラグビーまたはサッカー1面
施主：三重県四日市市
設計：株式会社設計
施工：電気/四日市電機機
竣工：2018年6月



Aフィールドのサッカー場のみのLED投光器の全点灯時①



AフィールドのサブトラックのみのLED投光器の点灯時。

サッカー場全点灯時の照明架台部(上)。サブトラック点灯時の照明架台部(下)。

省エネをはじめ、長寿命によるメンテナンスの低減や煩雑な球交換不要のLED投光器を採用。

外輪に400mのサブトラックを配置したサッカー場Aフィールドのナイター設備は、プレイヤーに強い影を生じないようにすると共に、グレアの少ない競技面や照度分布を良好にするため、21m高の照明塔をタッチラインに沿って両側に3基ずつ合計6基を設置しています。照明架台部には1基当たりHID器具1.5kW相当のLED投光器が12台ずつ合計72台を搭載。広角形を中心に使用し、広範囲を効率的に照射すると同時に、コーナーキックの際にゴールライン延長線上の光源がグレア制御できるよう、プレイヤーに配慮した配光角を調整しています。フィールドの平均照度は302ルクス、均斉度0.65(最小/平均)を確保。屋外サッカー場のJIS照明基準(一般競技)は十分クリアしており、充実したナイター照明によりサッカー競技を

快適にしています。また、サブトラック使用時はLED投光器34台を点灯し、平均照度123ルクスの明るさを確保しています。

BフィールドおよびCフィールドは、隣接したコートとなっており、照明設備は、19m高で、B・Cフィールド共に6基ずつ合計12基によるサイド配置としています。LED投光器は1基当たりHID器具1.5kW形相当8台ずつ合計96台が搭載され、平均照度はB・Cフィールド共に262ルクスを得ています。

これにより、従来のHID投光器と比較して大幅な消費電力の削減が図られているほか、約40,000時間の長寿命により高所作業となるメンテナンスコストの軽減を実現。停電などによる消灯にもLEDならではの即時点灯・再点灯が活かされています。

6基の照明塔にLED投光器を合計72台搭載したサブトラック付サッカー場Aフィールドの全点灯時①



LED投光器12台搭載のAフィールド照明塔消灯時(左)①
LED投光器8台搭載のB・Cフィールド照明塔消灯時(右)②



CフィールドのLED投光器全点灯時。



BフィールドのLED投光器全点灯時②

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
Aフィールド	LED投光器	① LEDS-70409NW-LJ2	71	消費電力：800W
		② LEDS-70409NM-LJ2	1	消費電力：800W
B・Cフィールド	LED投光器	③ LEDS-70409NW-LJ2	96	消費電力：800W